主題：神の建造の内在的な構成を知り経験する

メッセージ　11

神とミングリングされて神の増し加わりによって成長し、神によって造り変えられて神の建造のために神を供給する

聖書：サムエル下7:12-14前半．コロサイ2:19．マタイ13:18-23．ヨハネ17:11, 21．エペソ4:15-16

Ⅰ．キリストのからだとしての召会は三一の神の有機体であり、召会の建造は、神とミングリングされて神の増し加わりによって成長し、神によって造り変えられて神を供給し、わたしたちが神の建造のために成就されて一となることによります――エペソ1:22-23. 4:4, 16．レビ2:4-5．コロサイ2:19．使徒 6:4．ヨハネ17:23．参照、エペソ4:11-13：

A．真の建造は命における成長であり（Ⅰコリント 3:6-12 前半．エペソ 2:21-22）、真の建造は命における造り変えであり（ローマ 12:2）真の建造はからだの一、三一の神の中の一です（エペソ 4:4-6, 12-13．ヨハネ 17:21, 23）。

B．神と人のミングリングとからだの一は、聖書とわたしたちのクリスチャン生活における中心的な事柄です。一は温度計のようなものであり、わたしたちがどれほどミングリングの中にいるかを告げることができます。神とミングリングされた結果はからだの一です――Ⅰコリント 6:17．12:13 とフットノート 1。

C．神と人のミングリングは命における成長と造り変えを生み出し、このミングリングが起こるのは、わたしたちが霊の食物と飲み物としてのキリストを食べ、飲み、消化し、同化することによります――ヨハネ 6:57, 63．Ⅰコリント 10:3-4。

D．わたしたちはキリストを食べ飲みして享受すればするほど、ますます造り変えの内なる霊的な新陳代謝を経験し、それは成長と召会の建造です――エレミヤ 15:16．ヨハネ 4:10, 14．ローマ 12:2．マタイ 16:18。

E．神のエコノミーはご自身をわたしたちの中に造り込んで、わたしたちが霊的な消化と同化の新陳代謝的な過程を経験して造り変えられることです。それは彼にわたしたちの全存在の中で、神の建造のために大通りを与えることによります――エペソ 3:16-19．マタイ 5:3, 8．イザヤ 66:1-2．詩 51:10-12。

F．霊的な新陳代謝の過程を通しての召会の有機的な建造は、実はエホバがサムエル下第 7 章 12 節から 14 節前半でダビデに預言したことです。ただこの過程を通して人のもの、すなわち人の子孫が神聖なもの、すなわち神の子たちとなることができます。

Ⅱ．マタイ第 13 章が啓示しているのは、キリストが種をまく方、神聖な命を分配する方であって、命の種、神の言葉としてのご自身を、人の霊と人の心の中にまき、神の農場、神の建造のために、わたしたちの中で神聖な種としてのキリストを成長させるということです――ヨハネ 10:10 後半．マタイ 5:3, 8．13:3, 8, 18-23．マルコ 4:14．ヨハネ 6:68．マルコ 12:30．Ⅰコリント 3:9：

A．命の種としてのキリストをわたしたちの中で成長させるために、わたしたちは日ごとに主に対して対処して霊の中で貧しくなり、霊の中で空になって、その霊、新しい、現在の、「今の」キリストとしてのキリストから離れて、自分が何も持っておらず、何も知らず、何もできないことを認識しなければなりません――マタイ5:3．ヨハネ8:58。

B．わたしたちの中の命の種としてのキリストを成長させるためには、日ごとに主に対して対処して心が純粋になり、警戒して心を守らなければなりません――マタイ

5:8．箴 4:23：

1．わたしたちは心を尽くして主を愛し、それが道ばたのようにこの世の交流によって固くならないようにしなければなりません――マタイ 13:19。

2．わたしたちは心を尽くして主を愛し、隠れた罪、個人的な願望、自己追求、自己へのあわれみで、自分の心が浅くならないようにしなければなりません。それらは岩であって、命の種がわたしたちの中で根を張ることを妨げます―― 20-21 節。

3．わたしたちは心を尽くして主を愛し、自分の心をこの時代の思い煩いや富の惑わしから守らなければなりません。それらはいばらであって、命の種の成長をふさぎ、わたしたちを実を結ばないものとします―― 22 節。

4．わたしたちは心を尽くして主を愛し、心全体を主にささげ、それが良い地になって、人のすべての栄養分を神聖な種に供給し、彼がわたしたちの中で成長することができるようにならなければなりません―― 23 節．参照、12:34-37。

Ⅲ．ヨハネ第 17 章が啓示しているのは、わたしたちは三一の神とミングリングされることによって彼の中で一へと建造され、三一の神が一であるようにわたしたちが一となり、彼の一つの証し（一つの表現）、彼の一つからだ（一つの有機体）、彼の一つの都（一つの表現）となるということです――11, 21節．啓1:11-12．エペソ4:4．啓21:2, 11：

A．わたしたちが三一の神の中で一へと建造されるのは、彼のブレンディングし結合する命（わたしたちの一の要素）が、わたしたちを天然の人から解放することによります――ヨハネ 17:2-3, 6。

B．わたしたちが三一の神の中で一へと建造されるのは、彼の洗い聖別する言葉（わたしたちの一の手段）が、わたしたちをサタン的なこの世から解放することによります―― 14-19 節。

C．わたしたちが三一の神の中で一へと建造されるのは、彼の光り輝く栄光（わたしたちの一の表現）が、わたしたちを分裂的な自己から解放することによります――21-24節。

Ⅳ．からだの有機的な建造はからだの成長であり、からだを建造するその務めの働きは直接、命の中で成長して成就された聖徒たちによります――エペソ 4:11-16：

A．命におけるからだの成長はかしら「の中へと」であり、奉仕におけるからだの機能はかしら「から」です―― 15-16 節：

1．キリストにあらゆることでかしらとなっていただき、親密に彼に結合されて、すべての事で彼の中へと成長し込むとき、わたしたちは彼の命の豊富で供給されて、命としての神をからだの他の肢体の中に供給します――コロサイ 2:19．Ⅰコリント 14:4 後半．ヨハネ 7:37-39．ピリピ 1:25。

2．わたしたちは祈りによってかしらの中へと成長し込み、神の言葉の務めによってかしらから機能します。これは天の務めの中でキリストと一になり、召会を建造することです――使徒 6:4．参照、ヘブル 7:26．8:1．Ⅰコリント 14:4 後半。

3．キリストのからだを建造することは、その霊で満たされてその霊を聖徒たちの中に供給し、彼らを命の中で成長させることです――Ⅱコリント 3:2-3, 6, 8．5:18-20。

B．かしらであるキリストから、からだ全体（供給する節々と活動する各部分）は、キリストのからだを成長させ、愛の中でそれ自身を建て上げるに至ります。愛はキリストのからだを建造するのに最も卓越した道です――エペソ 4:16．Ⅰコリント 12:31 後半．13:13．ヨハネ 13:34-35。

©2006 Living Stream Ministry